



神明宮 ガイドブック

令和2年度

大年番町 元能見北町

ご挨拶

幾春巡りても自然界は変わることなく、今年も新緑の季節となりました。

例年、5月第2日曜日（とその前日）に斎行する神明宮例大祭は、江戸期より脈々と、氏子の皆様方の御協力・御尽力により永く伝統を引き継ぎ、現在では、岡崎三大祭りの一つにも数えられております。このお祭りを通して氏子中の皆様方のより一層の教化と深い絆と連帶感が培われていけば幸いに思います。

中でも『御神輿渡御』は一番の重い神事で御神体を御神輿にお移しして、氏子の皆様方の弥栄と安寧を祈願します。また、『山車の宮入り』は8台の山車が灯りを点し、お雛子の音と共に町内を巡り、揃って神明宮に入ります。

本年も5月9日（土）、10日（日）の両日に様々な神事・祭事を行う予定で準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大している状況を受け、ご参拝いただける方および関係者の健康・安全を第一に考慮した結果、やむを得ず見送ることとなりました。本ガイドブックは、発行の都合上、予定をしておりました日程のまま記載しておりますが、今後の日程等については、ホームページなどでご連絡させていただく予定ですので、引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

尚、折々の行事についても、状況に配慮し、氏子の皆様方と共に斎行してまいりますので、大神様の御加護が頂けます様、御参拝頂きたいと思います。

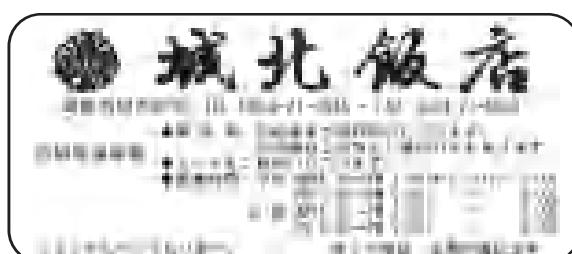
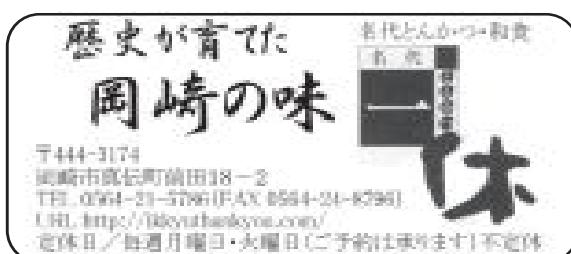


神明宮HP

令和2年4月吉日
宮 司 加藤 和子
神社役員 深見 吉弘
谷澤 幸次

目 次

ご挨拶	
大年番町氏子総代挨拶	2
年間行事	3
神明宮由来	4
神明宮の御朱印について	5
神明宮における令和の奉祝事業	6
神明宮参拝と境内案内	8
氏子町内散策ガイド	10
御神輿渡御行列役割と用語の説明	14
神明宮例大祭	24
祭礼行事日程	24
行事紹介	21
子供会所開き	25
山車の御祓い	25
山車揃え	25
乙女の舞	25
稚児行列	25
境内余興	26
子供連練り込み花火	26
神前奉納花火	26
境内での行事	26
御神輿渡御	27
山車町曳き	29
境内余興	29
山車宮入り	29
山車紹介	30
山車宮入り順路図	32
岡崎三大祭り・神明宮大祭を写す会	34
編集後記	36
神明宮へのアクセス	



大年番町氏子総代挨拶

令和2年4月吉日
元能見北町 氏子総代 深津 義也

風薰る新緑の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび毎年恒例になっております神明宮例大祭を開催するにあたり、今年も多くの方々に楽しんで頂けるよう関係者一丸となって企画準備を進めて参りました。祭りの準備等にあたられました各町年行司様はじめ多くの氏子の皆様に御礼申し上げます。しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況を受け、誠に遺憾ながら、例大祭を延期することとなりました。状況を見て、改めて開催する予定でありますので、その際は、ご家族揃ってご参加下さいますようにお願い申し上げます。



また、神明宮にはお祭だけではなく、このガイドブックにも紹介されていますように年間を通して色々な行事が予定されています。興味のある方は是非ご参加下さい。

本年は元能見北町が微力ではございますが、年番を務めさせて頂きます。各町の皆様のご指導とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

<p>① 松本なかみせ亭 軽食 雑貨 営業日：金・土・日・月曜日 10～16時</p>	<p>④ CALME まつ毛 定休日：月・第2第3日曜日 ネイル 0564-83-6853</p>	<p>⑥ パスレル ケーキ 定休日：月・火・第3日曜日</p>
<p>① 河西屋 和菓子 なかみせ亭内で葵巻き、季節の和菓子販売中</p>	<p>⑤ 横丁に古本屋がオープン！屋号は 六月 古本 15:00開店・不定休 080-4225-4144 (みさき)</p>	<p>⑥ tera-nail 2F 9:00～21:00 不定休 ネイル ご予約は HOT PEPPER Beauty から</p>
<p>② うさぎとかめ 壽屋 定休日：日・水・木曜日 雑貨 090-4467-9486 (深津)</p>		<p>⑦ MENARD エステ 化粧品 販売 岡崎松本代行店 manomano-salon.jp</p>
<p>③ 舟と羽織り 営業日：水・土・日（不定休） 手作りパステル画、ホストカード、がま口、羊毛フェルトetc 教室 ※豊橋ライター：花まちフェスタで演奏しています。</p>	<p>⑧ おしゃべりサロン じゅげむ 憩いの場 営業日：金・土・日・月曜日 090-1232-4836</p>	<p>お店の営業情報、お得情報を掲載 松應寺横丁盛り上げ隊 Twitter</p>

 松應寺、松應寺横丁の
デジタルマップはこちら



年間行事

- 5月 9日 前日祭
- 5月 10日 大祭
- 6月 30日 大祓式
(夏越の祓、茅輪くぐり)
- 8月 13日～15日 御靈祭(盆踊り)
- 11月 3日 文化祭
- 11月 15日 七五三詣
- 11月 23日 新嘗祭
- 12月 31日 大祓式
- 1月 1日 元旦祭 初詣
- 1月 7日 七草かゆと蘇民将来の神符授与
- 2月 3日 節分祭(豆まき)
- 2月 11日 建国祭
(紀元祭、建国記念の日)
- 2月中旬 厄除け祭
- 2月 23日 天長祭(天皇誕生日)
- 3月 15日 祈年祭
- 3月下旬 入学祈願祭



大祓式(夏越の祓、茅輪くぐり)



御靈祭(盆踊り)



七五三詣

※このほか、毎月15日には月次祭が斎行されます。
※諸事情により日程等が変更になることがあります。

吉中商店

岡崎市元鏡見町56番地
(0564) 21-0685



岡崎市指定給水装置工事店
有限会社 鶴田住宅設備

住まいのリフォーム・L.Pガス・太陽光発電

Tel 0564-21-7250

神明宮由来

神明宮御由緒記※下図写真（境内向かって鳥居左前、昭和56年5月掲載。現在は破損掲載なし）は能見村根元之事（神明宮社務所にて配布）の能見村神明勧請之事を基に書かれていきました。この度、新たに由緒記を作成するにあたり神明宮黎明の会の見解をここに掲載させていただきます。

鎌倉の右大将源頼光の嫡男頼家の時に疫病が起きて村々に難儀が起き能見村に神を勧請。代々住み慣れし近藤九兵衛という方が神の惣廟は伊勢正法神を勧請すべしと神明を定める。初めは榦、杉葉で仮屋形を建て敬う。^{1219年}承久元年7月北條泰時出仕の時星野判官額田郡を押領あり。其の時の代官井田の郷にあり。^{1220年}承久2年代官山田外記村々巡見の時能見村にて其の村の近藤源左衛門訴えて宮地の寄進を願いけるに山田外記順見帳に書き留め、宮地少々と銭五十貫文程下され、祠を建立。祭礼初めは八月十五日夜より十六日迄氏子集まり、御神酒、^{どうやく}惣湯薬を上げ神を諫めける。この代官15年間額田郡を支配して神明を敬い山田外記氏房、本社を建立寄附。その後祭礼水無月に、神移しは時の神主藤江内膳（大門村八戸明神神主）祭の儀式諸事執り行う。（能見村根元之事による）

^{1592年}天正20年時の神主深見六歳に城主田中吉政の家老辻勘兵衛尉重勝より神主屋敷の寄進あり。^{1601年}慶長6年2月10日伊奈備前守忠次神領5石の黒印を附し慶安元年2月14日徳川家光之を朱印に改む。^{1749年}寛延2年社殿を再建同年9月15日遷宮式を行う。明治5年10月12日村社に列せられ明治41年10月26日神饌幣帛料供進神社に指定せらる。同42年本殿改築あり。^{1908年}大正12年10月境内社の御鍬社、津嶋社、嚴嶋社、稻荷社、津嶋社、五十猛社（津嶋社・荒神社合殿）の6社合せ

神明宮に祀られています御祭神は、

天照皇大神、萬幡豊秋津姫命、手力男命、豊受姫命、須佐之男命、市杵島姫命、五十猛命の七柱です。

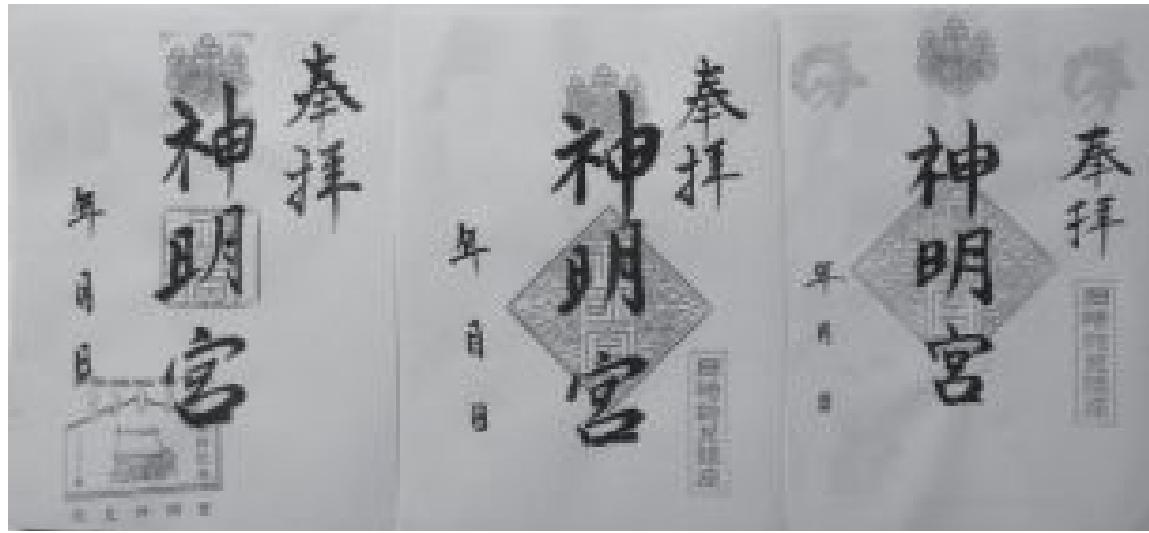


神明宮御由緒記

■ 神明宮の御朱印について

御朱印とは神社や寺院において参拝者に向けて押印される印章・印影のことです。押印の他に、参拝した日付、寺社名・御祭神の名前などを墨書きしてくださるところが一般的です。また御朱印をもらう（拝受といいます）ために使用する帳面を御朱印帳と呼びます。

御朱印の起源は、寺社へ写経を納めた（納経）際の受付印であったとされています。江戸時代以前は神仏習合の時代ですので、今のように神社寺院の境界線が明確には引かれていなかった時代です。・・・神社にも納経する事もありましたので、寺社どちらが起源という区別はないと考えたほうがよいでしょう。・・・自ら参拝した証として御朱印を拝受する。あくまでも参拝するという宗教行為が前程にあり、その証として拝受するのであって先ず参拝を済ませてから拝受するのが拝受の礼儀です。（御朱印・神社メモによる）



①

②

③

神明宮の御朱印は上の写真三様あります。

神明宮では御朱印を①と②から選んでいただくことが出来ます。5月の大祭の日は①・②・③（③は大祭の日の御朱印です）の中から選んでいただきます。

①の御朱印は能見神明宮の神社の絵馬印の入りで珍しい絵柄です。②は神印が大きく、岡崎能見鎮座の印。③は5月の大祭の日の参拝の御朱印で桐の御紋の左右に藤の花印があります（桐のご紋は神明宮の神紋です）。奉拝・神明宮・日付は宮司の手書きの墨書きです。

神明宮の御朱印は300円で授与所でいつでも受付をしています。参拝をして御朱印を書いている間に社務所で神明宮ガイドブックをお渡しして神明さんを紹介しています。県外からの参拝も多く喜ばれています。

神明宮における令和の奉祝事業

その1 絵馬掛け

神明宮ではこれまでの絵馬掛けは仮屋として製作したもので正式な絵馬掛けはありませんでした。この度、氏子皆様の御奉仕と御協賛の基、総檜材による絵馬掛けができました。そこで絵馬について、平成20年の神明宮ガイドブック加藤禰宜さんの寄稿文と「岡崎市制70周年記念で岡崎市の絵馬」（岡崎市教育委員会）文中より紹介させていただきます。

奈良時代の文献である『続日本紀』には神馬を奉納していたことが記されています。しかし、馬は高価でなかなか奉納できず、また、奉納された寺社の側でも馬の世話をするのが大変です。そのため、馬を奉納できない場合は次第に木や紙、土で作った馬の像で代用するようになります。平安時代からは板に描いた馬の絵で代えられるようになりました。さらに、室町時代になると馬だけでなく様々な絵が描かれるようになりました。例えば狐を使いとするお稲荷さんでは狐の絵が描かれている所もあります。江戸時代には、家内安全や商売繁盛といった願いをかける風習が庶民にも広がり、今日のように個人が小さな絵馬を奉納する形は江戸時代から始まつたものであるといわれています。人間と馬の出会いは古く、岡崎市内では弥生時代中期といわれる。二千年前位前のものと思われる「馬の骨の下顎骨」が、井ノ口町の「味噌粕岩遺跡」から発見されている。五世紀以降は特に乗馬用、運搬用として馬が本格的に使用されるようになって馬の存在は極めて貴重なものとして、高貴な献上物の代表として扱われており、そんなところから願い事や感謝の証が絵馬となって奉納され、形や姿を変えて各種大小の奉納が引継がれてきたといわれている。

神明宮拝殿には屋根形の馬上の武者絵馬2、長方形の勧進帳の絵馬1が奉納されています。



弘化3年 材木町西中ノ切
拝殿奉納



文化4年 材木町久後ノ切
拝殿奉納



昭和50年 松本町氏子拝殿奉納



令和2年 神明宮特製絵馬

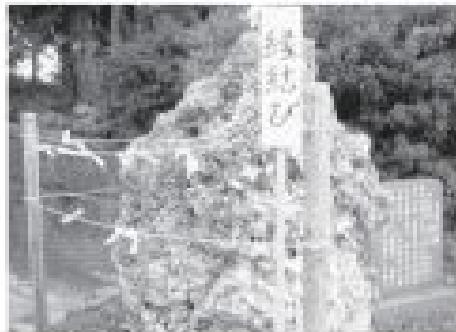


その2 御神籤結び処の常設

次に10月22日即位礼正殿祭祀当日、お御籤結び処をさざれ石横に【縁結び】と称して記念事業の一環として常設いたしました。

此れまでは正月・例大祭時に、お御籤むすび処を社務所横にその都度設置いたしていましたが、このことにより年間を通じて結ぶことが出きる様になりました。

さざれ石と御神籤が一緒になりまして境内にパワースポットと呼ぶことに致しました（命名者は令和2年度大年番町の前氏子総代）。



(後方はさざれ石)

その3 記念植樹（柳：なぎ）

令和と改元し新天皇の植樹祭に先立ち、熊野速玉大社より贈っていただいた（平成22年6月）御神木の苗木から育てた樹齢9年のなぎの若木2本を令和元年5月5日関係者（宮司始め氏子総代、町総代、年行司、神和会）一同により植樹いたしました。

なぎの木とは（学名Podocarpus nagi）

マキ科の常緑高木。古くから熊野信仰と結びつき、ご神木として各地の神社に植えられた木として知られています（柳に代わってなぎを使用している神社もあります）。平和の木として家内安全、縁結び、陸上、海上の交通安全、諸災退散消滅の信仰があり、熊野詣での人々は、その小枝を懷中にしテ旅の無事を祈ったと古事に記されています。



☆開運・厄除☆

『海が風ぐ・・・』苦難を『なぎたおす！』

☆強い生命力・環境を守る木☆

『ナギラクトン』（魔よけの御守り）

☆縁結び・商売繁昌☆

『さけにくいことから』

植樹場所は神明宮裏山に2本植樹いたしました。

神明宮参拝と境内案内

境内に入ると最初に出迎えてくれるのが大正13年に建てられた岡崎最大石の神明鳥居（神明鳥居様式）です。まっすぐな二本の柱の上に島木を置かず笠木を渡し、その下に柱より外に出ないで二本の柱を連結する貫を入れ、額束を掲げない最も素朴な鳥居です。また、笠木が五角、貫も角で、この鳥居は、伊勢神宮の鳥居と同じです。鳥居をくぐる時軽く会釈をします。



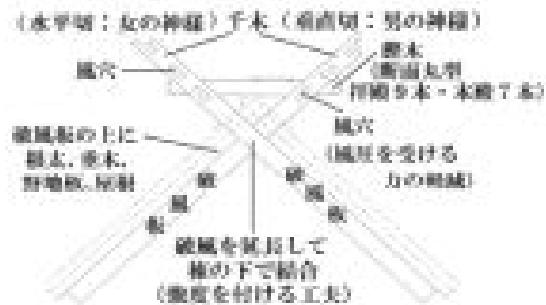
鳥居を潜ると対になって江戸時代の灯籠が並んでいます。そして春夏秋冬の季節感を持って大銀杏の木が参拝者をお迎えしています。そのまま左手前方には6本の柱（通常は4本が多いのですが）で建てられた手水舎があります。ここで手口を漱ぎ（右手で柄杓を持ち左手、右手と清め左手で水を受け、口を漱ぎます。柄杓を垂直に立てて残しておいた水で柄杓の柄を洗い）柄杓を元の位置に戻します、水盤に張られた水は水道水です。

敷石（コンクリート）の参道の中心（中心は神様の為に空けて）を避け、拝殿に向かいます。参道の左右にはシャッターに絵が描かれ目を和まして、中には祭礼の諸道具（山車含む）がしまってある小屋がシャッターの殺風景さを和ませる絵が描かれています。



愛嬌のある顔をした狛犬が拝殿前に控えています。階段を登り最上階まで進み軽く会釈をします。賽銭を投入しましたら深く二礼します。そして胸の高さ程で二拍手します。また深く一礼します（二礼二拍手一礼）軽く一礼して階段を降ります。神明宮の参拝の道程です。ご高齢の方には上り降りが大変ですのでご自身の体調にあった略式参拝でも結構です。略式であれ正式であれ、ただ一つ守っていただきたいのはお辞儀をする時は左右の手は左右の足の側面でなく膝に手を持っていてください（これが正式な手の位置です）。

参拝を終えたら境内でゆったりとしたお時間をお過ごしください。



拝殿、本殿とも千木が前方と後方の形が異なっていて他に類を見ない能見神明宮独特の建築様式です。「それは当神社には天照大神・須佐之男命が主祭神として祀られている為に、拝殿・本殿新築の折に千木を他に見ない能見神明宮独特の様式で建造されました。」

社務所左手には祭礼の渡御行列の看板が、西側材木二丁目小屋にはふるさとの名木に指定されています珍しいえのきくろがねもち夫婦木の大木が。神楽殿右手にはさざれ石、その左手にはだるま藤の藤棚、裏山には榎の森、紅白対のオガタマの木、なぎの木、ソメイヨシノ、南天、花梨、ロウバイ等々が植えられていて四季折々の花をつけています。

総合人材サービス

人が足らない時何でもご相談ください

株式会社

JNS

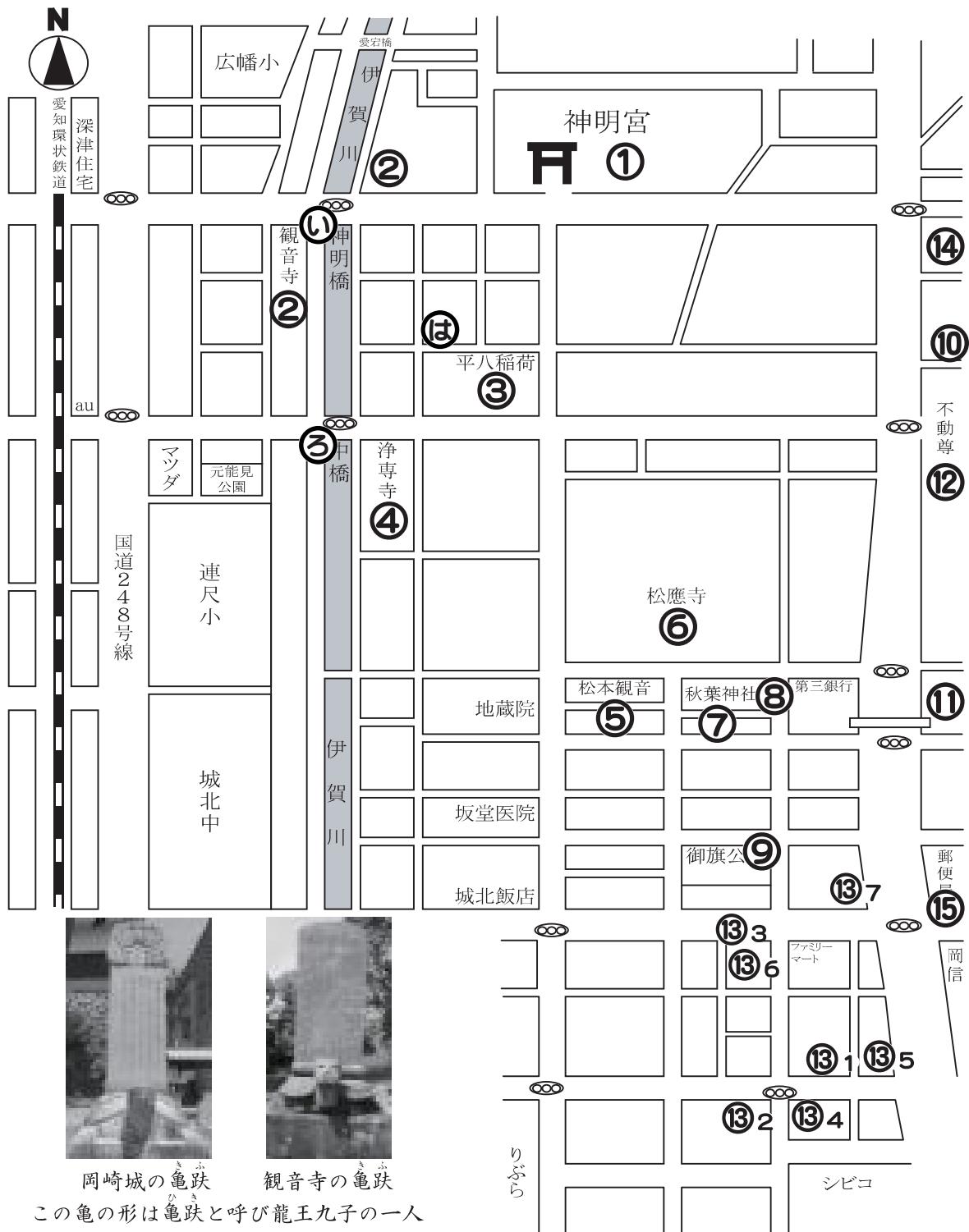


〒444-0068 岡崎市井田南町9-4

電話 0564-65-5222

氏子町内散策ガイド

氏子町内にあります神社・仏閣・石碑等を要約してみました。不備な点が多々ありますですが、渡御行列の道すがら注視していただいてはいかがと思い作成してみました。

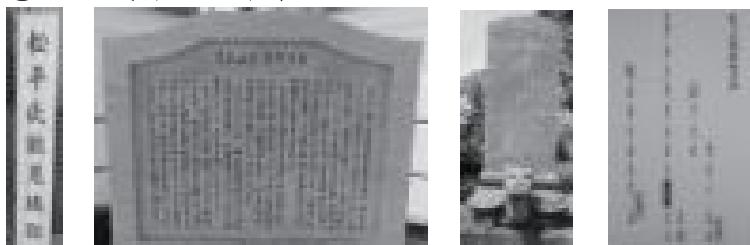


①神明宮



ここには神明鳥居、灯籠、ふるさとの名木、神社ならではの樹木、パワースポット、狛犬、千木、屋根が平面と凸のある小屋、町名の焼いてある屋根等々見どころ満載です。

②能見城跡と觀音寺



左から能見城跡石碑・觀音寺縁起・光親墓碑・能見松平系図

松平氏能見城跡は家康6代の祖信光の子、光親を元祖とし能見城を構え、見松山觀音寺縁起によりますと觀音寺は能見松平初代城主（光親）が堂宇を再建して觀音寺と称し、以来子孫代々家運長久の祈願所として尊崇してきた。墓地には松平光親以下の墓碑が現存する。光親墓碑は上記写真左から三番目（亀趺・きふ）、安祥城跡にも安祥城主の亀趺があります。因みに能見松平は大分県杵築市藩主として明治を迎えていました。

③平八稻荷



由緒によりますと能見松平光親の子重親の夢に白髪の老翁手に宝珠を持ち青龍に跨るを見る。『我是山城國伏見の里の宇賀靈神なり此處はわれの有縁の地にして汝を待事久しう士民心を協せ我を齋かば永く庶民を守護すべし』と重親醒めて村内に藪中に稻荷の小祠を見つけ、この小祠土民に尋ねると凡そ百年以前よりあり平八稻荷と申す。重親此の奇瑞を喜び小祠を改築し以て厚く尊崇せり。重親の子重吉が武田勢を本多平八郎忠勝の先陣となり之と戦う時に平八稻荷の御守符を兜の中に納め従軍奮闘、主従共に傷つくことなく大勝し、爾來松平氏を始め武将の崇敬と庶民の信仰愈々厚く、田中吉政城主となると一部土民の奉斎するになりましたが、本多中務大輔岡崎城主となり寛政11年頃より再興せる。昭和3年社殿改築時に龍が宝珠を握った紋様の古瓦が地下より発見されています。

④淨專寺



元は土呂に開かれ、本多忠勝の帰依により本多家の菩提寺となつた。江戸時代には本多家に隨從して各地に転住し、岡崎城主として本多家が入封した翌年明和7年（1770）に岡崎城に再来住した。当初郭内の中之馬場辺りに位置したが、寛政5年（1793）に六地蔵町へ移り、大正8年（1919）以降に現在地へ移った。

⑤淨誓院松本觀音

⑥松應寺



広忠公廟



鳥居



太子堂



神明社

天文18年（1549）松平広忠公の亡骸を能見ヶ原の月光庵に埋葬され、竹千代同年11月岡崎に帰ると、月光庵に小松一株を植え松平一族の繁栄を祈願した。永禄3年（1560）岡崎城主となり菩提寺を建立。墓上の手植えの松が念願通り緑深く東方に伸長するのを見て「我が祈念に應ずる松なり」として名付けられました。お寺なのに鳥居があるという珍しいことです（岡崎市には他に滝山寺にもあります）。

境内地には太子堂が祀られていて文化2年能見村庚申山直性院（現成田山）に一宇を建立。岡崎在住の大工職有志の太子講中。明治3年松應寺境内に移築。松應寺伝記による。

太子堂横には神明社も祀られています。

⑦秋葉社

昭和26年秋葉講として松本町1丁目23番地に奉り、昭和38年に秋葉社として建築され、町として維持管理が困難になり昭和41年松本町より神明宮に寄附され神明宮末社として松本町が管理しています。

⑧善入院

御本尊：一光三尊善光寺如来。

敷地内には油を掛けて祈願する油掛け地蔵尊があります。

⑨・⑩常夜灯



⑨能見南常夜燈



⑩能見北常夜燈

⑪真宗大谷派
謝徳山覺恩寺



⑫能見不動尊貞寿寺

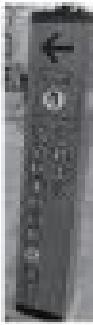


境内にある庚申堂
(氏子内寺社では眺望第一)

⑬岡崎二十七曲り木標碑と信濃門跡



⑪1



⑪2



⑪3



⑪4



⑪5



⑪6



⑪7



東海道岡崎城下二十七曲がりに建てられている道標。

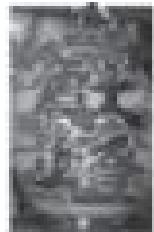
信濃門は岡崎城北門足助街道の起点塩の道としては有数の規模であった。この先場内にて東海道と交わる。

⑭屋根神

能見町では、町の守護神として、小祠を町屋の軒上に祀り、秋葉社の祈祷符が納められており、すなわち火伏の神です。小祠を軒上に祀る風習は、市街地独特の形態です。

⑮氏子町境の大提灯

(祭礼のときに設置)



失われた碑



(い)二十三夜



(ろ)神変大菩薩 役行者堂



(は)能見村(元能見)常夜燈

伊賀川河川工事で撤去された碑

■ 御神輿渡御行列役割と用語の説明

先獅子：小学校高学年男子で淨めながら触れ歩く。白法被着用。

道案内2名、塩撒き1名、塩持ち1名：道案内、塩撒きは氏子総代・町総代・年行司経験者で町内の功労者が務める。塩撒きが重要な役であり、袴を着用し一字笠を被る。年長者であり、次回が10年後になることもあって、一人の人が二度務めることはありません。

猿田彦：猿田彦神は天孫をこの国土に御啓行になられたという故事にならい平成17年から行列に加わりました。しかしこのお役は神明宮の御神輿渡御には道案内が2名いますので不要な存在ですのでいずれ役を取り消さなければいけない。

梵天：花笠梵天で世間の云う笠鉾です。大きな傘の骨に桜の花びらをつけたもので頂部には御幣を配しその下に五穀豊穣、天下泰平などと書かれ傘の下には御神燈が一対取り付けられ前日祭、大祭の夜は朝まで明かりを絶やさない。神社梵天はやや大きく、厄年方が担当する。各町の梵天は、各町の行列の先頭に、献饌順に並び各町が担当する。

稚児：稚児は化粧をし、稚児衣裳をまとい小学校入学位までの子供で、男女を問わない。

楽人：鉦、ひちりき、笛、楽太鼓等で雅楽を奏てる

五色旗：緑・黄・赤・白・黒（紫）の旗各2本づつ稚児衣の高学年女子にて10名が奉仕、履物は草履

旗鉾・四神旗（お髭さん）：小学生高学年男子9名が奉仕。烏帽子を被り子供直垂（したたれ）の衣裳を着用して顔を白く塗って黒髪を描く。松鉾・槍鉾・鯰鉾・軍扇・日月旗・四神旗（4本）の9名の奉仕による。履物は草鞋。看板には刀なを腰に挿していますが、通常天照大御神の行列には刀を持たないという事で衣裳が変わったときに刀をやめました。

白丁衣：社名旗、神社梵天、賽銭箱、榦台、太鼓、楽太鼓、鉦、赤提燈、三種神宝、玉串奉持、神官笠の奉仕を厄年の方に依頼。白丁衣を着用することからこのように呼ばれています。履物は草鞋。

御神輿車：男子高学年子供による奉仕。衣裳は素襖で履物は草履。作務衣を着用した大人が付き添う

御旅所：各氏子町内の無事安全息災を祈願する所。バケツ2杯の砂を盛り、木垣まきで囲いその四方に籠竹を立て、注連縄を張る。砂盛の上に御神輿車に乗った御神体が停まります。





株式会社 前田シェルサービス

- 圧縮空気用エアフィルター
- ウレタンライニング
- 鋳造用鋳型製作
- 無電解メッキ



株式会社 前田技研

- 鋳造用金型
- 5軸試作加工



〒444-3501 愛知県岡崎市池金町金山 76 番地 4
TEL (0564) 48-2411 : 株式会社 前田 シェルサービス
TEL (0564) 48-3584 : 株式会社 前田 技研
URL : <http://www.maeda-i.co.jp/>

ネットショップの店舗名が
『MINEZAWA NET』に変わりました。

MINEZAWA NET



Rakuten



<https://www.rakuten.ne.jp/gold/mine-tool/>

YAHOO!
JAPAN
ショッピング



<https://shopping.geocities.jp/mine-tool/>

 株式会社 **MINEZAWA**

本社/愛知県岡崎市井田南町4番地5

TEL:(0564)25-5000(代) FAX:(0564)25-5055

【国内拠点】 苫小牧 宮城 厚木 豊橋 安城 桑名 北九州 福岡

【海外拠点】 タイ(バンコク) 中国(天津・蘇州・廈門・広州)
インドネシア(リッポーチカラン) メキシコ(イラブアート)

地元の情報を集約した地域情報ポータルサイト。
岡崎市・幸田町にも登場です。

Power of Local



日々の暮らし、
お仕事、お出かけ、
お子様の成長など、
日々の出来事や、
おでかけ先の情報など、
日々の暮らしを豊かにする
おでかけ先の情報を
お届けします。



最新情報
掲載店情報
特集
おでかけ
おでかけ先の情報を豊かにする
おでかけ先の情報を
お届けします！

トップページには最新情報がずらり！　掲載店がお届けするお店紹介の情報をご覧いただけます！



ちょっと迷ったら車で迷わなきゃ！
そんなおでかけ地図の検索を発展しています。

まいちの特機車隊

<https://okazaki.mypl.net>



地域の皆様に支えられて 40 年。今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

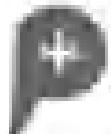
株式会社 岡崎特機

御協賛

緑茶でつくる健康家族
三姫園 真野茶舗
岡崎市元見通7丁目7番地
電話・FAX 21-1663

耳鼻咽喉科
坂堂医院
福壽町1-11 TEL 21-6156

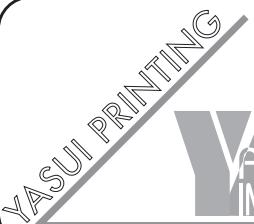
 **あおい**
在宅クリニック
内科・精神内科
岡崎市新見通1丁目11番地
TEL (0564) 45-3773

ひとりひとりの、暮らすの声に。
 **パナプラス薬局**
おもな施設：高齢者施設・介護老人保健施設等
おもな販賣品：健康食品・化粧品・日用品等

さの接骨院
〒444-0917 岡崎市日名西町8番地8
TEL/FAX (0564) 74-7841
デキるさトレーニングスクール
TEL/FAX (0564) 74-9681
リハビリ特化型 デイサービス こきょう
TEL/FAX (0564) 74-9681

八百藤
宅配無料
TEL・FAX 21-1614
電話で貰物ができる店 どんどんお電話下さい
松本町2丁目17番地

—あ上の 一時手当—
城北中学校門前運動
 **城北ゼミ**
444-0063 岡崎市元見通8丁目36
電話 0564-24-1691 fax 0564-24-2345

 **安井印刷**
〒444-0063
岡崎市元見町55番地1
TEL(0564)21-0900
FAX(0564)21-0944


株式会社 オーケース
〒444-0915 岡崎市日名南町4-12
TEL 22-1366

損害保険ジャパン株式会社
代理店 井畠克己
岡崎市材木町1丁目30
TEL・FAX (0564)26-0365

〒444-0071 岡崎市真伝吉根1丁目1番地2
ファミリーマート
岡崎真伝町店 (54691)
電話 0564-65-8722

電話 (0564) 22-9556
〒444-0068
岡崎市井田新町3-6
営業時間：朝6:30～午後 21:00
午前 5:30～午後18:30
月曜～金曜日 月曜日定休日



御協賛

内田木工

有限会社 内田木工
〒445-0013 岡崎市能見町1丁目6番地
TEL (0564) 21-5910

郵便局

JP 郵便局
岡崎能見郵便局
岡崎市能見町1丁目6番地
TEL (0564) 21-5910

はんべい お惣菜 弁当
食卓で味わる専門店の味

場中

伊賀町東郷中 TEL. 28-2221

地元で就職

OK NAVI

岡崎商工会議所 就職情報室
電話 0564-53-6165

医療法人 矢藤眼科

岡崎市神明社バス停前 駐車場有
TEL (0564) 21-0641
岡崎市能見町103 P有り
(財)日本眼科学会 眼科専門医 院長 矢藤仁

MK MEDICAL 医療機器・福祉機器

ミズノケアサービス

水野器械店

平日 8:00-12:00 13:00-17:00 土日祝 9:00-12:00

きものとや

美濃庵萬盛店

岡崎・松原・神明社バス停前
電話 22-1009

★あまゆうトリニティリサーチ★
(化粧品)

吉しゃれ ろうさくや

岡崎市能見町143 (神明社バス停前) FAX 0564-21-3955

生麩・焼麩(各種)製造販売

麸屋万商店

岡崎市能見町87番地
工場 日名本町11-26
電話 (0564)24-3072

御屋上社 太鼓竹笛

吉田屋

岡崎市能見町111の1
TEL (0564) 22-6845

学校制服専門店

学生の店 シバジ

Campus Shop SHIBAJI

岡崎市能見町132
(神明社バス停前)
TEL (0564) 21-0945

ミッドランド税理士法人

税理士・医薬経営コンサルタント

Midland

Alliance of Tax Lawyer Firm
〒445-0613 岡崎市英町3番地1
TEL 0564-24-5678 FAX 0564-24-7055

御協賛

山田屋

丸洗い・シミ抜き・寸法直し
草履直しなど お困り事承ります

着物アフターケア診断士
草履、鼻緒すげ技能士

がいる店です
能見町 127 番地 TEL21-1156

どんな時計でも修理 O.K.

青山時計店

能見町 140(神明社バス停前) TEL・FAX・0564-24-2392

 施設法人

康生歯科医院

■診療時間：AM9:00～PM11:00／PM2:00～6:00 ■休診日：木・日・祝日

みたらしだんご

赤飯・祝餅

あまざけ屋 電23-1258



肉の示田屋

本店・岡崎市伝馬通り 21-0771(代)

いいものだけをあなたのものへ



落合商会

Better Life Shop
岡崎市能見町270 Tel / Fax 24-2410



GOMANGOKU

岡崎市御器所2丁目3番地(バス停前) TEL0564-23-2528(代)



イトウ

(旧 伊藤商店)
岡崎市能見町267(バス停前)
TEL-0564-21-0081

新実庵接セツト有限会社

〒444-0071 岡崎市稻葉町滝道4の1
TEL <0564>24-2938㈹
FAX <0564>23-3223

・ロープ・保安具
ワイヤーロープ各種絶縁

糸代製綱(株)

本社 能見町243-1
電21-0174



牛丼・刺立・宴会

新 小 島

能見町 電話 21-1047番

酒肴茶飯 みくら

岡崎市能見町 240-1
TEL (0564) 25-3133

御協賛

伊東・ごんの店舗カードアートプリント印刷・名刺・ロゴ制作
尾枝堂印房
岡崎市能見町2-115 TEL 0564-24-0516 FAX 0564-24-0516
<http://chirishi-studio.jp/>
E-mail: chirishi@id.idv.jp

三州菓子工房
十日町
**ありがとう。
かりんとう。**
できたてかりんとうはかりや
営業時間 平日▶10時~16時
有限会社 中田屋 能見通1-44 TEL 21-3057
10時~16時 上・日・祝日定休
<http://www.nakataya.org/>

YAMADA
株式会社 **山田電気商会**
〒444-0073 岡崎市能見通1丁目20番地
TEL 0564-24-0500 FAX 0564-24-0516
E-mail: yamaden@catvmlcs.ne.jp
URL: <http://www.yd-syokai.com/>

Amano
Dental
Orthodontic
天野歯科・矯正歯科医院
0564-21-0595

ウッド洋菓子店
岡崎市能見通1丁目83番地
(愛知屋仙廬本舗より5軒東へ)
TEL<0564>21-9990
<http://wood-yougashi.com/>

ヘアーサロン
ハナフサ
能見通1-68
TEL 0564-21-6616

愛知屋
株式会社 TEL 0564-24-0500 FAX 0564-24-0516
<http://www.yamaden.com/>

株式会社 **マムコおおむら**
岡崎市能見町3-3
TEL (0564) 21-0231(代表)
FAX (0564) 25-1339

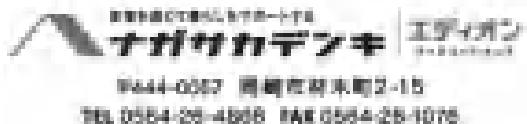
M
マルコボーネ
パン・ケーキ・
クッキー材料
揃います。
岡崎市材木町1-37(りぶら東)
TEL (0564) 24-0029

紙の処理なら **井土商店**
ゴミの処理なら **タツキ興業**
トイレットペーパーは **岡崎紙**
岡崎市大樹寺一丁目12-2
TEL 22-6898

慶事佛事・生菓子
上田軒
材木町1の49 TEL 22-1490

地域密着のめがね屋さん。おかげさまで35周年
メガネのナイトウ
あなたに最適なメガネをおつくりします。
岡崎本町支店となり P完備 TEL 22-6398

御協賛



岡崎市板金の専門店
ゴトサカテキ エディオン
TEL 0564-28-4868 FAX 0564-28-1076

Wine Selection & Bar ワインセラーウメムラ

岡崎市材木町2-5
Tel 0564-22-0883
<http://www.takemura.jp/goto/umemura/>

ふとん & インテリア
(株)ダイマルヤ
材木町2-62
■ 22-0242

LIVENAS
リベナス エネ・ドウ
輪山本商店
■ 0120-86-6553

板金塗装、金属塗装の施設・塗装、神社仏閣の屋根修理
高柳板金株式会社
〒441-0917 岡崎市日名西町9-7
TEL 0564-21-3893 FAX 0564-21-3908
<http://www.yasukado.net/>

大衆酒場
どんちゃん
岡崎市材木町2-65 ■ 0564-24-5544

牛の
久類杉浦
岡崎市松本町イケワ(2D-1390)

社会福祉法人 謝徳会
るんびにー保育園
〒441-0913 岡崎市龍見通1-30-9-3
TEL 0564-21-8526
FAX 0564-21-1889



有限会社
ヤナセ看護婦家政婦紹介所

岡崎市松本町 1-18
TEL (0564)21-2039

青果物卸
(有)八百憲
岡崎市松本町 44
TEL 24-0100

月・火定休
mariya
福寿町 1丁目 20番地
Tel 26-0701

御協賛

アトリエ
グー
新画廊室

■ 入会隨時
■ 堤 久子

岡崎市松本町42-26 TEL 0564-24-3667
e-mail : hisa3ko@docomo.ne.jp

はり・きゅう・指圧
吉崎鍼灸院

受付時間 9時～17時半 指圧 17時半～20時
午前10時～11時 午後17時～18時
施術西松本町2-11号
TEL 0564-24-3667

医療法人
大浜医院
内科・外科

松本町1丁目91 TEL 052-21-0743

理療・食事
仙 ZOO CAFE

松本町1の107(107ビル) TEL 052-21-0110

酒房 **まきわ**
MI JO KA

TEL 0564-24-3662
岡崎市松本町1-30
ハイアットビル1F
TEL 0564-24-3741

Yシャツからお布団まで
クリーニングの事なら
全てお任せ下さい

美洗館

岡崎市松本町2-20
電話 052-23-3107
営業時間 8:00～20:00
定休日 水・日・祝

仕出し・特食
なか川

中川給食㈱内
(フリーダイヤル) 0120-280948

お祭り衣装
たこ
多胡岡崎

ご注文!
うつります!
お祭りバカラ
盛況者急増中!

松本町 新橋四丁目
TEL 052-21-1976

元山重機株式会社

ケーブルリース
空調設備機器

本社 TEL 0564-24-81787 FAX 0564-25-3676
豊田営業所 TEL 0538-55-2536 FAX 0538-55-3686

西山接骨院

午前 9:00～12:00
午後 3:00～7:00
岡崎市松本町2-21
0564-23-5560 日曜・祝日・土曜午後休業

TEL 0564-24-3662 愛知県岡崎市松本町1丁目51番地
加藤雄士税理士事務所

電話 0564-21-3825
FAX 0564-23-8493

神明宮例大祭

祭礼行事日程

5月 3日 (日)

9時00分～ 子供会所開き
13時30分～ 大幟旗棹立ち上げ

於：各町子供会所
於：神明宮境内

5月 9日 (土)

10時00分～ 山車の御祓い
10時30分～ 前日祭
10時30分～ 山車揃え
13時30分～ 乙女の舞奉納
15時00分～ 稚児行列

於：神明宮境内
於：神明宮本殿
於：宵祭り会場
於：神明宮神楽殿
於：宵祭り会場～
神明宮境内

15時00分～ 境内余興
18時00分～ 子供連練り込み花火
19時20分～ 神前奉納花火

於：神明宮境内
於：神明宮境内
於：神明宮境内

5月10日 (日)

8時00分～ 御神輿渡御
12時00分～ 例大祭
13時00分～ 山車町曳き
13時30分～ 乙女の舞奉納
15時00分～ 境内余興
19時20分～ 山車宮入り出発
～21時30分 神明宮大祭終了

発：神明宮
於：神明宮本殿
於：各町
於：神明宮神楽殿
於：神明宮境内
発：神明橋付近
於：神明宮

5月11日 (月)

15時00分～ 終祭

於：神明宮本殿

※天候等、諸事情により変更する場合があります。

漢方相談
タカギ 薬局

ご予約は 0564-26-1717

営業時間：朝8時00分～午後8時00分
お休み：日曜日/祝祭日
岡崎市松本町42-8



★8種類から選べる
お得な昼限定ランチ★
饅ランチ 1500円丼ランチ 830円～
(税別)

23-7655

タカギ

行事紹介

子供会所開き（3日：9時～）

各町の子供会所にて、例大祭の安全と成功を祈願し御祓いが行われ、子どもたちによる獅子の練り込みが始まります。午後からは、境内にて大幟旗の棹が立ち上げられ、氏子内のお祭りムードが高まっていきます。

山車の御祓い（9日：9時30分～）

早朝より各町の山車が小屋から曳き出され、飾り付けが行われた後、境内に整列し、一斉に山車の御祓いが行われます。氏子各町の関係者も勢揃いして、山車曳きの安全を祈願し、いよいよ祭礼が始まり、引き続き拝殿において前日祭が斎行されます。

山車揃え（9日：10時30分～）

御祓いを終えた山車は神明宮の南、能見不動尊前の通りに移動します。時には有志によるイベントなども行われ、宵闇が迫る頃になると、提灯に明かりを灯し、ライトアップされた優美な姿を見せてくれます。



山車揃え

乙女の舞（9・10日：13時30分～）

各町から選ばれた小学校高学年の乙女たちが、優美な舞を神楽殿にて奉納披露いたします。

雅楽にあわせて緩やかに舞う姿は、時の流れが止まってしまったかのようなひと時を演出してくれます。



乙女の舞

稚児行列（9日：15時～）

お子様の健やかなご成長を願い毎年行っています。お化粧をして伝統的な昔の装束を身に着け、持花を持って、練り歩きます。最後に境内にてご祈祷を受け、お稚児さんの無病息災を願います。氏子の方は、日曜日に行われる渡御行列にて各町御旅所でご祈祷を受けることができます。

特に本年は、新天皇即位を祝い、いろいろな神社やお寺さんで、稚児行列が行われます。神明宮の稚児行列も大いに盛り上がることと思います。

稚児行列は、3回参加すると幸せになれると言われています。能見神明宮では毎年行っていますので、詳しい情報は神明宮ホームページをご覧ください。



境内余興（9日：15時頃～）

厄年会による餅つき、スタンプラリーやbingoゲームなどを予定しています。境内にて様々な余興をお楽しみください。

子供連練り込み花火（9日：18時～）

土曜日の宵、各町の子どもたちが花火の入った長持ちを担ぎ、境内に練り込んでまいります。全町練り込み後、境内にて御祓いを受け、賑やかでかわいらしい子ども花火の始まりです。

神前奉納花火（9日：19時20分～）

子ども花火に引き続き、境内では手筒花火などの伝統的な三河花火が奉納されます。華麗で勇壮な三河花火の醍醐味をお楽しみください。



神前奉納花火

御神輿渡御（10日：8時～）

（次ページをご覧下さい。）



御神輿渡御

境内での行事（10日：12時～）

御神輿渡御行列が戻ってきた境内では、正午より神明宮本殿にて大祭が斎行されます。大祭後には境内の藤棚にて茶席が設けられ呈茶を行っています。

また、神楽殿では前日同様乙女の舞の奉納披露があり、雅楽の奏でにのせた優雅な舞いは見ている人の心を洗います。

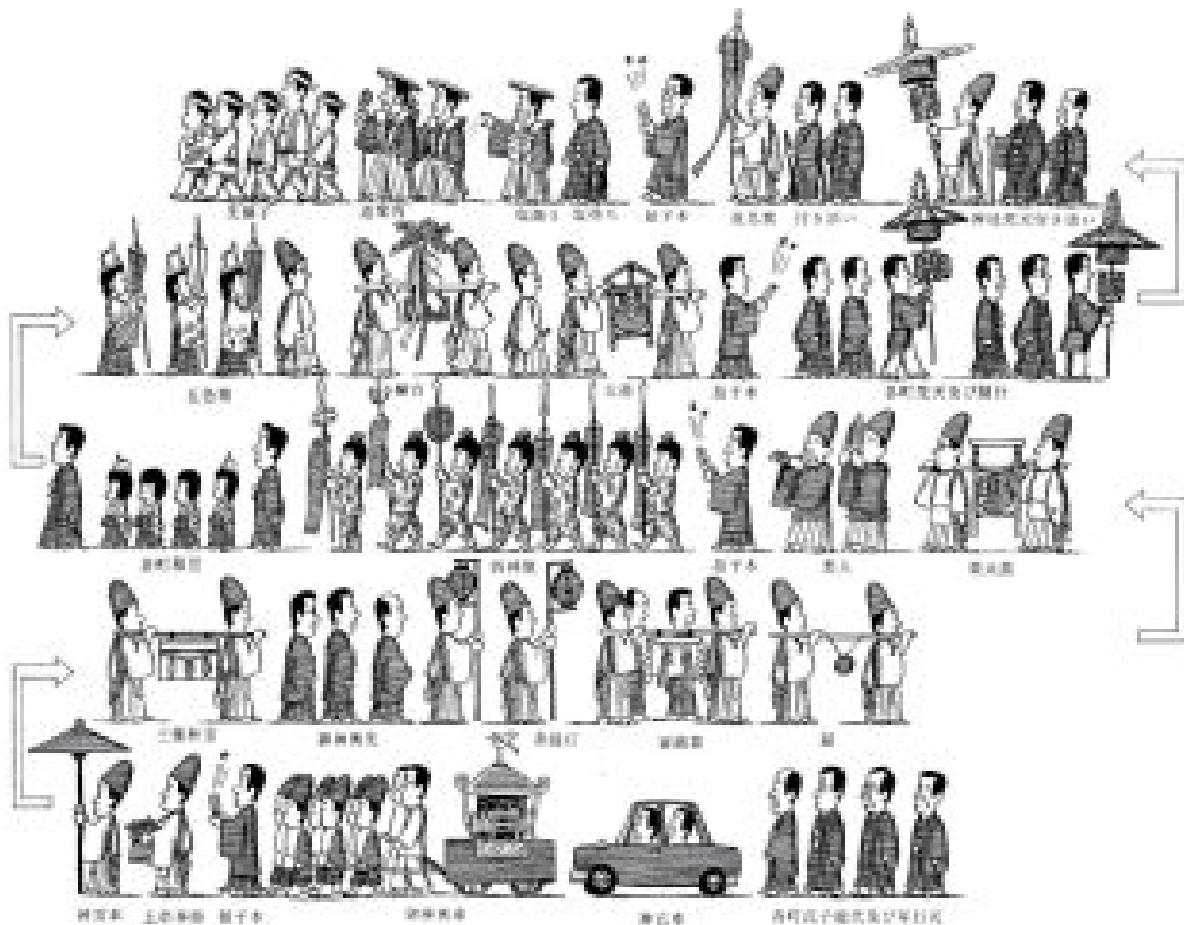
御神輿渡御

神明宮の御神体を神輿に移して氏子各町を巡る祭礼の重要な神事です。

江戸時代中期からほとんど変わることなく現代に引継がれてきた神明さんの御神輿渡御は、他ではなかなか見ることができなくなってしまった祭礼風景といえるでしょう。

先獅子と呼ばれる金色の獅子を先頭に進む数百メートルの行列は、まさに平安絵巻と呼ぶにふさわしいもので、各町に設けられた御旅所では町の安全と繁栄を祈願して御祓いが行われます。神明さんのお祭りを語る上で欠くことのできない渡御の厳肅な雰囲気を皆さんも充分に味わってください。

御神輿渡御行列図



小料理

椿 寮

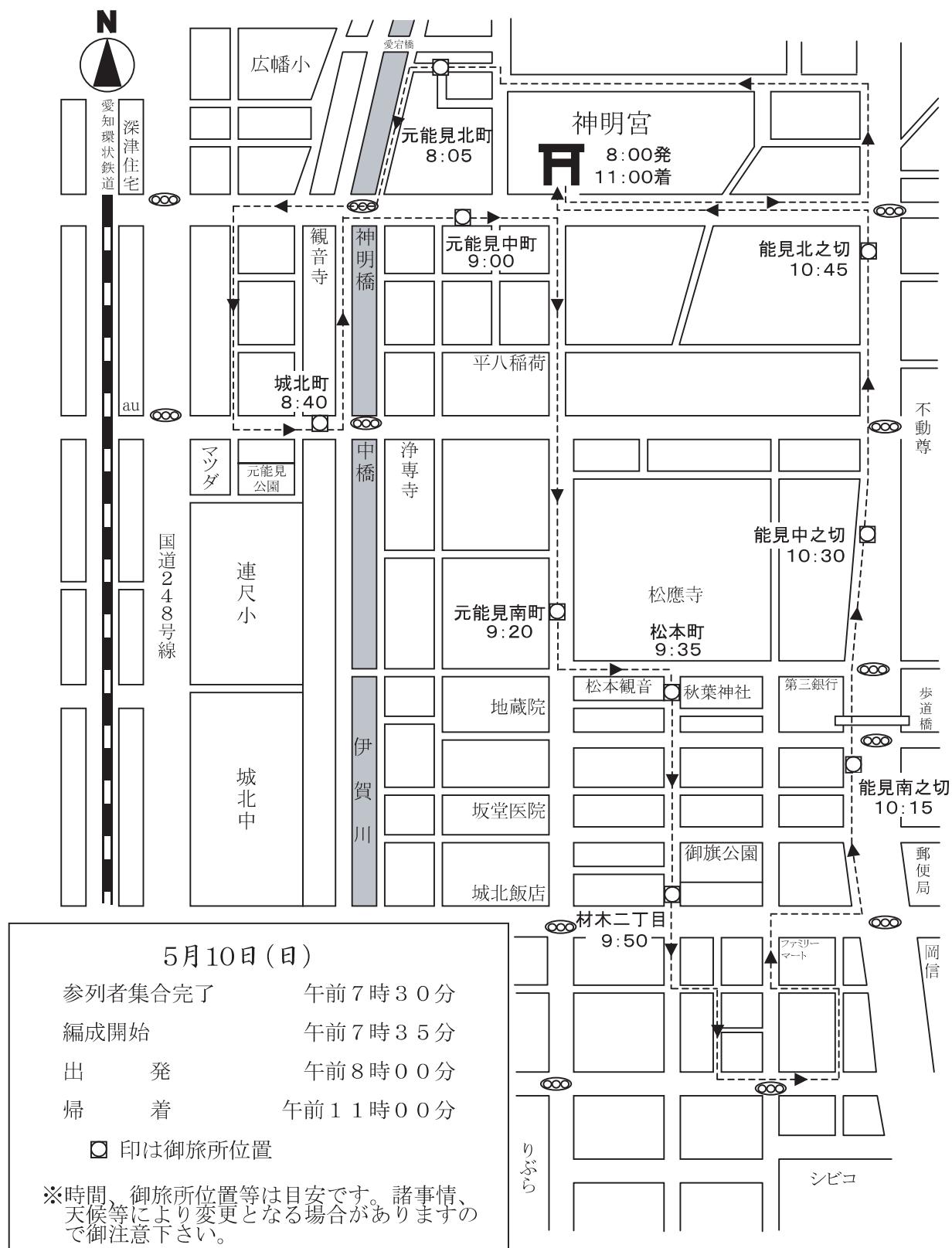
松本町1-81

090-3457-7778

UTUTU

うつづ
隠れ家酒房
松本町

御神輿渡御順路図



山車町曳き（10日：13時～）

現在神明宮の氏子には8台の山車があります。この山車も明治の頃までは三層式（三階建て）でしたが、道路事情や電線にかかるなどの理由により、現在のような山車に改造されたり、新しく作り直されたりしました。

各町独自のお囃子を奏でながら、氏子町内を曳き廻されます。また辻々で止められた山車の前面からは舞台が引き出され、踊りが披露されます。

お囃子や踊りで彩られた山車町曳きで、祭りの雰囲気は一層華やいだものとなります。

次頁より各町の山車の紹介をしています。



山車町曳き



城北中学校オーケストラ部による演奏

境内余興（10日：15時頃～）

城北中学校のオーケストラ部による演奏、スタンプラリー・bingoゲームなどを予定していますので、境内へお越し頂き、お楽しみください。



山車宮入り

山車宮入り（10日：19時20分～）

昼間、各町を曳き廻し子どもたちの踊りを披露した山車が、夕方には神明橋に集まってきます。いよいよ祭りのクライマックス「山車宮入り」の始まりです。

夜の7時をすぎた頃、8台の山車の提灯が一斉に点灯し、高張提灯を先頭に動き始めます。そして、およそ2時間をかけて、氏子各町をお囃子の音を響かせながら廻り神明宮に向かいます。

境内に集結した後、山車の舞台では奉納の舞が華やかに行われます。この時、祭りは最高潮に達します。

山車紹介

元能見北町（城北町）

昭和31年に材木町より譲り受けた山車で、元能見北町、城北町の2町で共有しています（平成31年3月31日で柿田町氏子退会により権利を放棄）。山車全面には仏壇彫りの彫刻が施され、天井には昇り龍が描かれています。側面には朱色の腰幕が飾られています。舵取り装置を持たないので曳き回しは豪快無双です。

（山車重量：1,400kg）

能見北之切

明治中期頃よりあった高層式山車の前山及び前部彫刻を利用して、昭和31年に製作されました。龍、鳳凰、鶴、象、唐獅子牡丹、獏等の彫刻が全体にあります。中でも正面の透かし彫りの龍は、文政時代に彫られた名作と言われています。金糸で町名を縫い取った幕が山車の全面・側面を飾っています。町のシンボルである北の守神「玄武」が背にある黒の法被姿の氏子が颯爽と曳き回します。

（山車重量：900kg）

能見中之切

昭和28年製作の総檜造りの山車で、龍、蓮、獅子等の彫刻が各所に施されています。山車側面には、紺地に金糸銀糸で阿吽の獅子が刺繡された腰幕が飾られ、「能中」と染められた見返り幕は、元治元年作とのことです。町民総出で伝統のお囃子に合わせて曳き回されます。（山車重量：1,200kg）

能見南之切

神明宮の山車の中で一番古く、江戸後期に製作されました。三層式でしたが、大正6年に一層式の山車に改造されました。山車各所に極彩色に彩られた彫刻が施されています。山車前面の左右の柱を飾る龍の彫刻の目にさらしが巻かれています。この目のさらしをはずすと祭礼に雨が降ると言い伝えられていて、12年に一度、辰年に巻きかえられます。次の巻きかえは、2024年です。

（山車重量：2,200kg）

たけだめっき

綾町14-8 Tel 21-8255 FAX 21-7561
<http://www.platine.or.jp/member/tdt/>

鮑政三

岡崎市葵町一ノ二（深津住宅ビル）
28-7233

材木二丁目

大正4年製作の黒及び赤の漆塗りの山車で、前面には美しい獅子、龍、象、仁王像、狛犬等の彫刻が施されています。山車の天井には、西東畔渓画の墨絵の昇り龍を中心に、その周りを彩色された四季の花鳥十二図柄がとりまくという見事な天井絵が描かれています。早調子のお雛子にあわせて曳かれます。

(山車重量：700kg)

松本町

神明宮の山車の中で一番大きな山車。昭和35年に作られました。山車の各部に、数多くの山車の彫刻を手がけた江坂兵衛氏による矢作橋行列図や天の岩戸図等の彫刻が施されています。平成14年、二世代前の山車に飾られていた江戸時代末期の作と言われる「陰陽の龍」の彫刻が現在の山車に復活しました。

(山車重量：1,100kg)

元能見中町

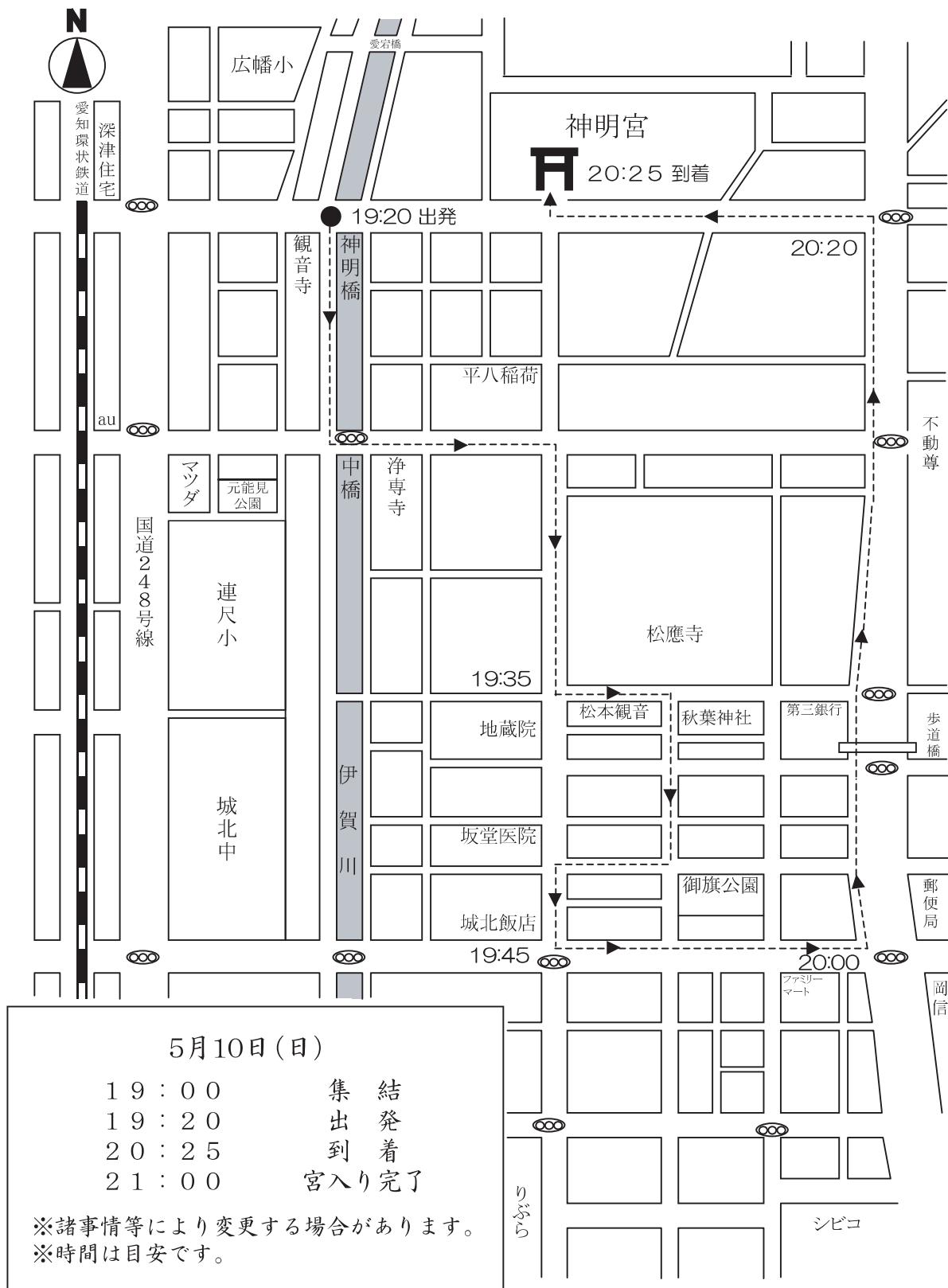
昭和20年代は東木材の山車を借用、昭和31年は、花車で町曳きを行いました。昭和32年に現在の山車を製作し、その後、手直しをして、現在に至ります。平成11年、日本一大きな山車のある加賀石川県の友禅夢樹（桧の素材に手書き友禅を染めた作品で、加賀友禅作家久恒俊治：作）の行灯（森清：作）を前面左右にはめ込みました。神明宮の神紋「五三桐」を杉板に透かし彫りし、左に藤の花、右には山車の正面に彫られている牡丹の花にちなんで牡丹の柄に。灯りがともる頃、鮮やかに山車が宵の闇に浮かび上がり、美しさを増します。（山車重量：1,100kg）

元能見南町

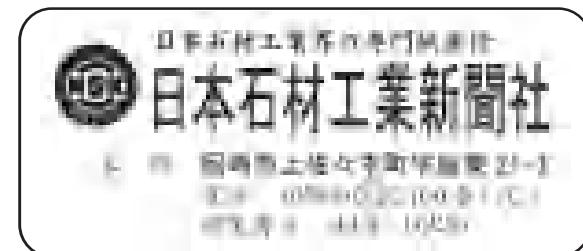
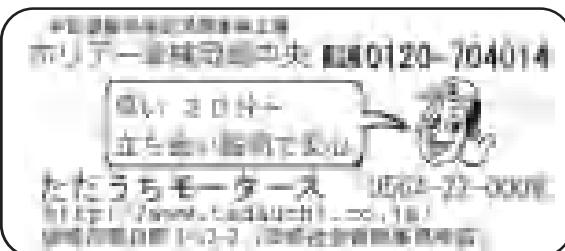
昭和33年に製作され、神明宮では一番小柄ですが、総白木造りで均整がとれた美しい山車です。この山車には、一本の釘も使用されていません。山車前面及び側面の各所には渡辺武雄氏作の龍の彫刻が施されています。内には天井絵が描かれ、後方には町名入りの藍染めの幕が飾られています。お雛子は、9つの曲目があり、常時演奏しながら、氏子内を巡ります。（山車重量：1,200kg）

※重量は、平成28年3月12日計測（因みに御神輿車は200kg）

山車宮入り順路図



御協賛



マルキ酢
株 川上酢店
TEL 22-0058(代)

S 杉林建設株式会社

〒444-0869 愛知県岡崎市明大寺町字出口14
Tel.0564-22-5215 Fax.0564-22-5122

[[杉林建設](#)] <https://www.sugibayashi.co.jp>

安兵衛
RESTAURANT 元鹿見町
(21) 2652
(23) 1703

おかざき福祉会
特別養護老人ホーム
もとのみの里

TEL (0564)22-7775
FAX (0564)22-7776

保険調剤 健康のご相談は
イナシマ薬局

岡崎市元鹿見町 172番地 9:30~19:00
TEL 21-0902 日曜、祝日休業

ほけんの相談室 MAX (MAX回線企画)

TEL 0120-0114 岡崎市伊賀町字中佐原3 丸ビル E-1階02F
0120-17-4919 FAX 0564-55-8082
イーフ ロング

提灯製造・販売
正畔柳商店

〒441-0075 岡崎市伊賀町字東郷中80
電話<0564>22-1190

うなぎ ふぐ料理
満福

元鹿見町 174
TEL 24-2641

ダスキンレントオール
岡崎ステーション
0564-22-1777
岡崎市麴 1丁目-3-8

何でも
レンタル
いたします

- ◎貸テント・やぐら等設営
- ◎ベビー用品・スツーカス・冷蔵庫
- ◎テーブル・椅子・音響・etc

おでこでサービス 街の白黒車屋さん♪
「街の白黒車屋さん♪」

ONODA MOTORS

新車・中古車販売・修理・自動車販売・販路・各種修理

営業時間：午前8時～午後8時 定休日：日曜日・毎週日

岡崎市美町1-11 TEL 0564-28-2772

【岡崎三大祭り・神明宮大祭を写す会】

毎年、5月に行われる神明宮の大祭は、岡崎の三大祭りのひとつとして、広く市民に親しまれています。氏子による八台の山車曳きは、城下町岡崎の下町情緒を今に伝える伝統の祭りです。この祭りの行事等を写した作品を募集します。応募方法等は下記にお問い合わせください。

中日新聞岡崎支局内中日写協岡崎支部
〒444-0863 岡崎市東明大寺町16-18

昨年の入賞作品を紹介します。

今年もこれらに負けない作品をたくさん写して応募してください。



推薦（神明宮宮司賞）

「山車舞台」
川口洋氏撮影



特選（神明宮神社役員賞）

「渡御の塩まき」
宮島元子氏撮影

スズキ販売岡崎



(株) 中川自動車

連尺小学校前 東広町3-1

Tel 21-4815㈹

内田クリーニング店

岡崎市城北町12番地34

TEL 21-4989



準特薦 (神明宮氏子総代賞)

「神明宮大祭にて」
犬塚猛氏撮影



準特薦 (神明宮町総代賞)

「渡御お出迎え」
大山育夫氏撮影



準特薦 (神明宮年行司賞)

「厳肅な御渡り」
竹境康郎氏撮影

rana*puraaNa

ヘアーアンドリラックス&アイラッシュ
tel | 0564-64-7636
mail | rana.puraana.hair@gmail.com

〒444-0064 岡崎市城北町9-11
◆営業時間 9:00~18:00 (ご相談に応じます)

運転代行 愛知県公安委員会認定 第98号
優良運転代行業者認定 第25-133号

株式会社 中日本サービス

お酒を飲んだら
TEL 0564-25-3600

編集後記

令和2年4月吉日
神明宮ガイドブック編集長 築瀬 太

春光うららかな季節を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、天皇陛下が御即位をされ、令和という新しい時代が国民の祝福の中で幕を開けました。そして、初めての行幸啓として、本市にもお出ましを賜りましたことは、私たちの記憶に鮮明に刻まれていることと存じます。

令和という元号には、「美しい調和」即ち、「お互いを尊重し、深い思いやりに満ちた時代」という思いが込められていると存じますが、現在の我が国におきましては、少子高齢化や人口減少社会への不安などから、多くの方々が危機感を抱いております。岡崎市においても同様で、今こそあらゆる力を結集し、夢ある新しい岡崎の実現に向け、未来を切り開いて行かなければならぬと感じています。

我が神明宮の氏子中におきましては、神明さんをよりどころとし、祭礼行事などを基盤に、地域コミュニティがしっかりと守られてきていると思います。子どもからお年寄りまでが、神社や町内のお役などを通じ「人と人が支え合い、互いに必要とされる幸せ」を感じることが出来ている、すばらしい地域であるとあらためて誇りに思います。

そして、この地に生まれ育ち、生かされている幸せに改めて感謝申し上げるとともに、神社や町内のお役の方々、祭礼の関係者の皆様のご尽力に心より感謝と敬意を表するところであります。

末筆ながら、本ガイドブックの発行にあたり、神明宮並びに広報担当の皆さんに心より御礼を申し上げ、編集後記といたします。



神明宮ガイドブックに、御協力いただいた方々に御礼申し上げます。
元能見北町

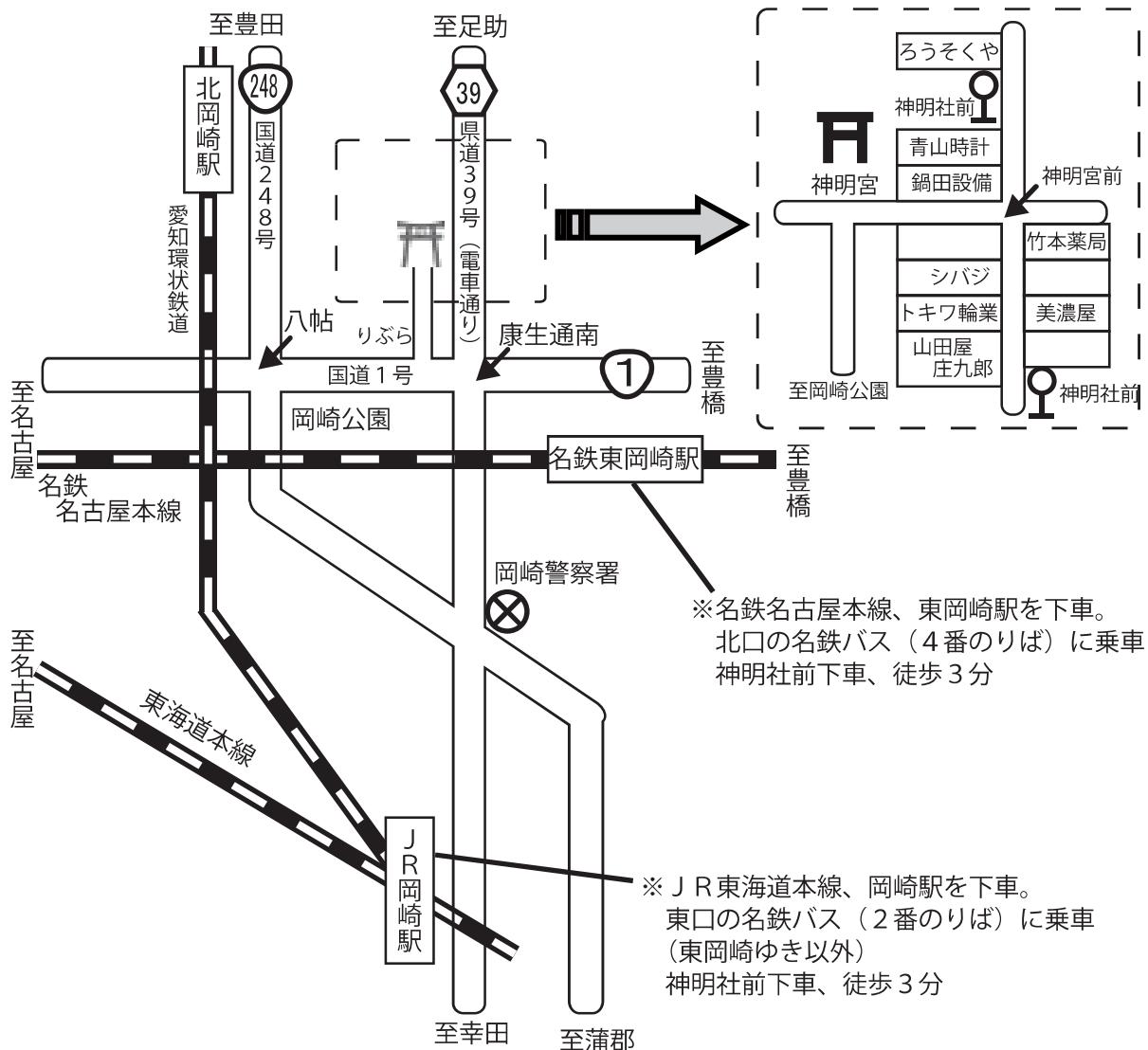
有限会社桑山商店

岡崎市八帖北町10番地10
電話 (0564) 22-6556(代)

製紙 製鋼 非鉄
(有)飯田商店

柿田町6-3
23-3129

神明宮へのアクセス



神明宮では

- ・家内安全
- ・交通安全
- ・厄除祈願
- ・安産祈願
- ・初宮詣
- ・進学祈願
- ・合格祈願
- ・成人式
- ・方位除祈願
- ・地鎮祭
- ・棟上げ式
- ・新年の祈願

など、いろいろな神事を執り行います。お気軽にご相談ください。

岡崎市元能見町42-1

神明宮



TEL 0564-22-6706

<http://www.nomi-shinmeiguu.com/>



元能見北町



能見北之切



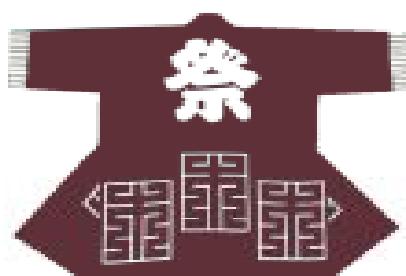
能見中之切



能見南之切



材木一丁目



材木二丁目



松本町



元能見中町



元能見南町



城北町